CSR REPORT 2018

明るく、楽しく、面白く。

niraku

株式会社 ニラク・ジーシー・ホールディングス
NIRAKU GC HOLDINGS, INC.*
(In corporated in Japan with limited liability 於日本註冊成立的有限公司)
Stock Code 股份代號：1245

本レポートについて

本CSRレポートは、香港証券取引所におけるメインボード上場規則の附属書類27（ESGレポーティングガイド）に準拠し、株式会社ニラク・ジー・シー・ホールディングス（以下、「NGCH」または「当社」）の環境・社会・ガバナンスに関する情報を開示しています。

※ガバナンスに関する情報は、別紙「Annual Report 2018」コーポレート・ガバナンス報告書を参照

当グループの活動は主に当社グループの子会社である株式会社ニラク（以下「ニラク」）の主事業であるパチンコホール経営であることから、本レポートは、ニラクにおけるCSRへの取り組みを中心とした内容となっています。

本レポートは、特に記載ある場合を除き、アニュアルレポート2018と同様に2017年4月1日から2018年3月31日までを報告期間としています。

本レポートは、リスク管理担当執行役（CRMO）により編集され、取締役会にて承認されています。

はじめに

当社は、日本の福島県においてパチンコホール業界をリードしております。パチンコホール運営に関する60年以上の経験から、当社グループは地域貢献をはじめ、ESG（環境・社会・ガバナンス）に着目することが経営にとって不可欠であり、また、当社の企業理念から導き出されるものであると考えています。

当社は、長期にわたり企業価値を高めていくことを目的に、CSRレポート（以下「当レポート」）を公表致します。当レポートがステークホルダーの皆様に、当社グループの取り組みをご理解いただく機会となれば幸いです。

経営理念

※代表執行役社長　谷口　久徳

明るく、楽しく、面白く。

Happy Time Creation

私たちは、世の中を「明るく、楽しく、面白く」していくことで、
人々の幸せな時間を創造していきます。

企業指針

ニラクが経営理念を実現するための基本的な方針
ニラクパーソン一人ひとりの道しるべ

CSRへの取組方針と
ステークスホルダーエンゲージメント

取締役会は当社グループのCSRに関連するリスクを評価、決定し、適切かつ効果的なCSRに関するリスクマネジメントを行い、適所に内部統制システムを整備することを含む、CSRに関する戦略に対しての責任を有しています。

当社グループは、関連するCSR上の課題を識別し、それらの課題が当社グループの事業、およびステークホルダーの皆様に対して有する重要性を評価するために、日々の業務のレビューや内部のディスカッションを通じて、経営者および当社グループ内の異なる部門の従業員との間で検討を行いました。
その結果、重要と考えられるCSR上の課題に関して、当レポートにて詳細を記載しています。
なお、当レポートの報告期間において、当社グループは、これらの重要な課題に関連する領域において、当社グループに重要な影響を与える法規則の不遵守または違反を認識しておりません。

当社グループは、ステークホルダーの皆様のご関心に、これまで以上に対応するために、皆様からのフィードバックを募集しています。
フィードバックの詳細については、巻末の「フィードバックのお願い」をご参照ください。

CONTENTS

Action 01 社員のために

人財に対する考え方 ・・・・・・・・・・・・・・・・07
ダイバーシティ・女性活躍の推進 ・・・・・・・・08
株式会社ニラク・メリスト・・・・・・・・・・・・・09
教育研修制度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
労働安全＆健康管理 ・・・・・・・・・・・・・・・11
福利厚生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
労使関係 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

Action 02 お客様のために

全店舗にAED配備・・・・・・・・・・・・・・・・・14
安心して遊技できる環境 ・・・・・・・・・・・・・15
お子様の車内放置・・・・・・・・・・・・・・・・・15
依存問題への取り組み・・・・・・・・・・・・・・16
ＰＢ景品開発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
ありがとう運動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

Action 03 環境のために

環境への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・20
環境マネジメント・・・・・・・・・・・・・・・・・21
ＬＥＤ照明の導入・・・・・・・・・・・・・・・・・21
空調設備電力削減システムの導入・・・・・・・・22
ビジネスセンター太陽光発電・・・・・・・・・・22
温室効果ガス等排出物削減への取り組み・・・23
環境保護への取り組み・・・・・・・・・・・・・・24

Action 04 地域社会のために

ACTIVE LOCAL ENGINE ・・・・・・・・・・・・・26
地域イベントへの協賛 ・・・・・・・・・・・・・・27
スポーツによる地域振興 ・・・・・・・・・・・・28
風とロックCARABAN福島に協賛 ・・・・・・・29
地域をきれいに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
`楽しくなる木'プロジェクト ・・・・・・・・・・30
地域への寄付活動 ・・・・・・・・・・・・・・・・30

Action 05 信頼のために

汚職行為（腐敗）防止 ・・・・・・・・・・・・・・32
業界最高レベルの風適法遵守体制 ・・・・・・・33
不正防止への取り組み ・・・・・・・・・・・・・・33
Anti Money Laundering ・・・・・・・・・・・・・34
ＢＣＰ（事業継承計画） ・・・・・・・・・・・・・35

報告ガイドライン対照表
フィードバックのお願い

Action 01

社員のために

for employees

ニラクで働く全ての人々のために

無限の力を信じて
未来をともに創る人

人財に関する考え方

ニラクは、創業以来、「愚直さ」「誠実さ」を芯に備え、自己の目的を明確に持ち、自己の能力が無限であると信じることができ、こうした考えに共感できる人財を求めてきました。当社は、このような人財の力を合わせることによりパチンコ業界を変革し、真の産業化および新事業領域への「創新」を成し遂げたいと考えています。また、個々の学びと成長の機会を全従業員に等しく積極的に提供していきます。

●グループ従業員数と男女比［2018年3月31日現在］

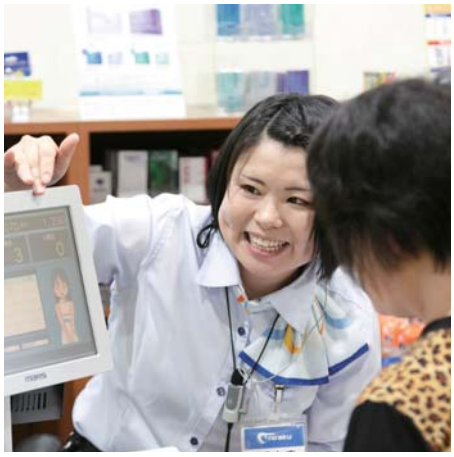
従業員数1,699名	
男性980名 58%	女性719名 42%

当社グループでは、採用、労働時間、有給休暇、雇用機会均等、福利厚生、労働安全衛生、労働災害など、日本国内における労働関連法規を遵守しております。

すべての社員が働きやすい環境を推進

ダイバーシティ女性活躍の推進

全ての従業員が様々な価値観やライフスタイルを持ち、それぞれの能力や個性を発揮できる職場環境の整備に力を入れています。2017年3月には、「女性活躍推進法に基づく基準適合一般事業主認定」において、最も高い「第3段階」認定（えるぼし認定）を取得しました。また、育児介護休業法を遵守し、女性の出産・育児支援や男性の育児休暇取得を推進し、厚生労働省より過去3度にわたり、次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主として認定されています。



厚生労働省認定「くるみんマーク」を取得

※くるみんマークとは、
「子育てサポート企業」として、
厚生労働大臣の認定を受けた証です。

目標1 男性の子育て目的の休暇の取得促進を図り、配偶者が出産した男性労働者に占める育児休業等の取得者および妻の出産のための特別休暇を利用した者の割合を50%以上とする。

目標2 育児休業等を取得し又は育児を行う女性労働者が就業を継続し、活躍できるよう、能力の向上やキャリア形成の支援のための取組みを実施する。

厚生労働省認定「えるぼしマーク（三つ星）」を取得

株式会社ニラクは、厚生労働省より女性活躍推進企業として最も高い認定段階である「第3段階（三つ星）」のえるぼしマーク認定を受けました。

厚生労働省 5つの認定基準

①採用
②継続就業
③労働時間等の働き方
④女性管理職比率
⑤多様なキャリアコース

●役職者人数・女性比率

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
合　計	138	146	149	158	160
男性管理職者数	129	136	139	145	147
女性管理職者数	9	10	10	13	13
女性管理職比率	7.0%	7.4%	7.2%	8.2%	8.1%

障がい者の職域拡大をめざす特例子会社

株式会社ニラク・メリスト

当社グループは「地域社会の発展への寄与」という方針に基づき、障がい者の法定雇用率を達成してきました。2010年2月には特例子会社「株式会社ニラク・メリスト」を設立し、さらなる雇用推進をめざしています。「株式会社ニラク・メリスト」では、店舗や研修施設の清掃業務、アグリ事業における野菜栽培など、障がいをお持ちの皆様がいきいきと働ける環境の整備や職域拡大に努めています。この活動が認められ、「平成28年度障がい者雇用優良事業所等全国表彰式」において厚生労働大臣表彰を受賞しています。

NIRAKU MERRIST

障がいのある従業員在籍人数

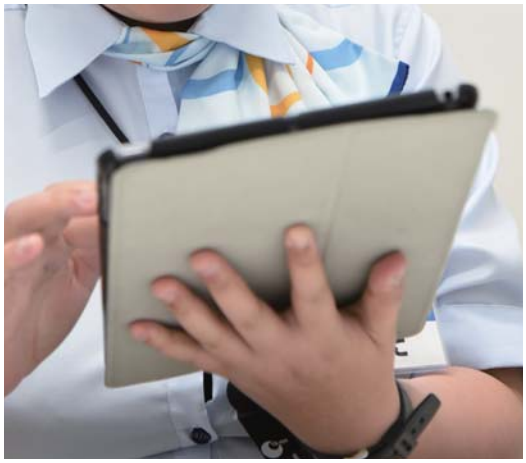
	期末時点人数	実雇用率	法定雇用率
2018年3月期	42名	3.3%	2.0%
2017年3月期	47名	3.4%	2.0%
2016年3月期	52名	3.7%	2.0%

「ニラク大学」による階層別研修を実施

教育研修制度

「自らがなすべきことに気づき、その目的の実現に向けて努力することこそ人が求める最大の幸せである」という信念に基づき、企業内大学「ニラク大学」を設置し、社会で通用する人財、未来のパチンコ業界を担う人財、私たちの求める「創新」を起こす人財の育成に努めています。OJTでは、作業マニュアルに加え、独自の教育プログラムを作成し、店舗内のタブレット端末を活用したｅラーニングを実施し、従業員一人一人の成長と自己実現をサポートしています。

［未来のニラクを牽引するリーダーを発掘し、育成する］
［若きリーダーに仕事の知識以外の見識とリーダーシップを身につける］
［ひとかどの人間になるための「人としての正しさと素直さ」を学ぶ］



●ニラク LMS※ Eコンテンツ登録状況［2018年3月31日現在］

※LMS：Learning Management System という社内教育システムの略称です。

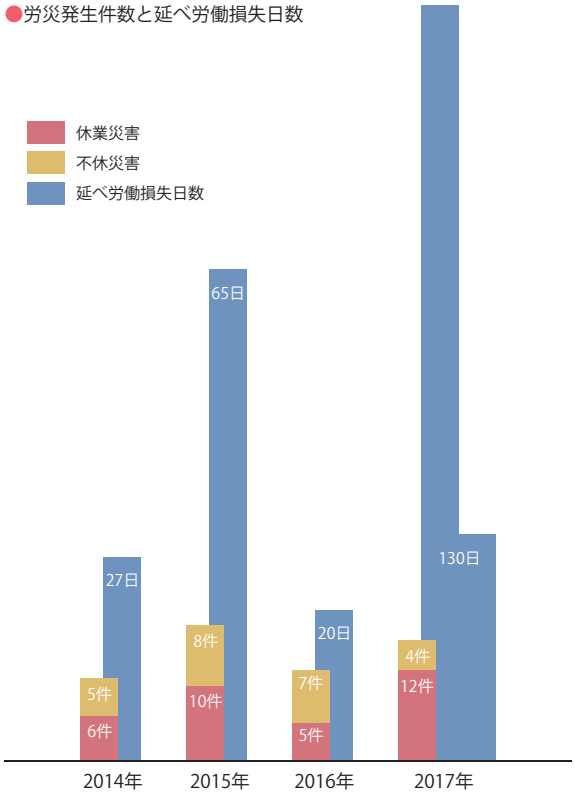
カテゴリ	中分類	コンテンツ名
能力開発（キャリア開発）	ビジネススキル	倫理的思考
		システム思考
		分析思考
		企画書作成力
		プレゼンテーション力
		多様性活用力
		会議ファシリテーション力
		組織論
		批判的思考
		デザイン思考
		創造的思考
		戦略策定力
		ネゴシエーション
		ビジネスモデル創出力
	ニラクパーソンスキル	パチンコの歴史と存在意義
		ハラスメント
		コンプライアンス
		AML（アンチ・マネーロンダリング）
実務教育		自己申告・家族申告プログラム導入について
		依存（のめり込み）問題と概要と店舗での取り組み
		風俗営業適正化法
		労務管理
		計数管理基礎
		コンプライアンス
新人事制度		評価制度導入について

万全の体制で一人一人の働き方に安心を

労働安全＆健康管理

労働災害の防止と業務上疾病の予防をめざし、事業場規模ごとに、総括安全衛生管理者（本部）、衛生管理者および産業医（従業員50人未満の事業場では安全衛生推進者）を設置し、安全衛生の実体や問題点の把握・改善に取り組んでいます。健康管理については、定期健康診断の他、社内および外部相談窓口としてニラクホットライン（内部通報窓口）やEAP（メンタルヘルス対応）を活用する他、長時間労働に対する産業医によるチェック、年次有給休暇取得の推進等を通して過重労働防止に努めています。

●労災発生件数と延べ労働損失日数

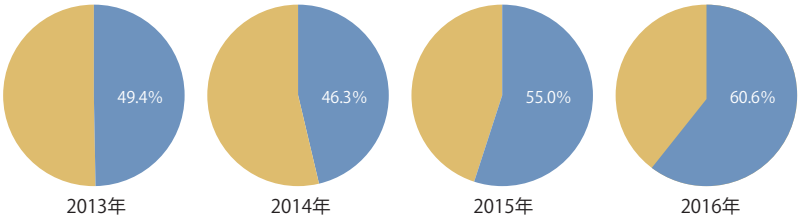


●労働災害強度率※
2018年3月期

0.05

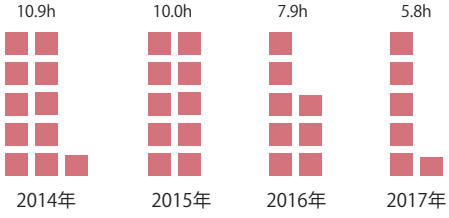
※労働災害強度率は、1,000延労働時間当たりの労働損失日数で計算され、労働災害の重さを測る参考指標です。

●有給休暇取得率の推移



※2017年度有休取得率は2019年3月期に集計されます。

●月平均時間外労働時間の推移



従業員の将来にわたる資産形成をサポート

福利厚生

「従業員持株会制度」(2015年～香港証券取引所への上場に伴い制度改定)、「確定拠出年金制度」(2016年～会社が掛金を拠出する従来の企業型年金に従業員が追加拠出できるマッチング拠出制度を導入)、さらに「財形貯蓄制度」を導入し、従業員の中長期にわたる資産形成をサポートしています。また、災害発生時や家族の不慮の事故が起きた場合、会社から資金の貸付を受けられる「厚生貸付金制度」を導入する等、多岐にわたる福利厚生の充実を図っています。

労使相互の健全で良好な関係を築くために

労使関係

2005年に労働組合「UAゼンセン ニラクユニオン」が結成され、ニラクと組合とによる労働協約を締結しました。以来、労使相互に協力し、社業の発展および労働環境の維持・向上と組合員のゆとりある生活の実現をめざした活動を続けています。労使の協議は定期的に開催され、労働環境や労働条件に関する改善意見をもとに課題の共有と解決へ向けた積極的な議論が行われる等、相互のよりよいコミュニケーションを通して健全で良好な労使関係の維持・向上を構築しています。

CSR REPORT

2018

Action 02

お客様のために

for customers

ニラクをご利用いただく全ての人々のために

全てのお客様の安心のために
もしもの時に備える

全店舗にAED配置

2010年よりAED（自動体外式除細動器）の設置を開始し、2011年１月に全店舗・営業所での配備を完了しました。これに伴い、全従業員を対象に簡易型心肺蘇生シュミレーション・キットによる訓練を実施しています。現在は、配備機器の経年劣化を防ぎ、救急時対応をベストな状態に保つため、警備業者と委託契約した機器のメンテナンスおよびAED講習の一貫運用を行っています。なお、2018年3月期の緊急搬送事例は88件で、そのうちAED使用による救命実績は2件でした。

●訓練の主な内容

付属のDVD（約40分）を見て命の大切さ、第一発見者の重要性、AEDの正しい使い方と意義を学びます。

CPRトレーニング・ボックスを開け、疑似AEDとAEDパットを準備し、樹脂成型心臓を胸骨圧迫し適切なタイミングと圧迫する強さの練習を行います。

お客様の信頼に
確かな安全でお応えする

安心して遊技できる環境

パチンコホールには、連日多くのお客様が来店されます。ニラクは消防法を遵守し、全ての店舗において消防訓練（年2回）、消防設備点検（年2回）、防火対象物点検（年1回）の実施とともに、従業員に対する防災教育を徹底し、お客様の安全確保に取り組んでいます。また東日本大震災による被災経験を踏まえ、2017年にBCP（事業継続計画）を策定し、緊急災害時を想定した定期的な訓練を開始しました。これらの取り組みにより、従業員一人一人の防災意識をさらに高め、災害への備えに万全を期しています。

●主な防災訓練と点検

消防訓練	2回／年
消防設備等点検	2回／年
防火対象物点検	1回／年

駐車場巡回で万が一の事故を
未然に防ぐ

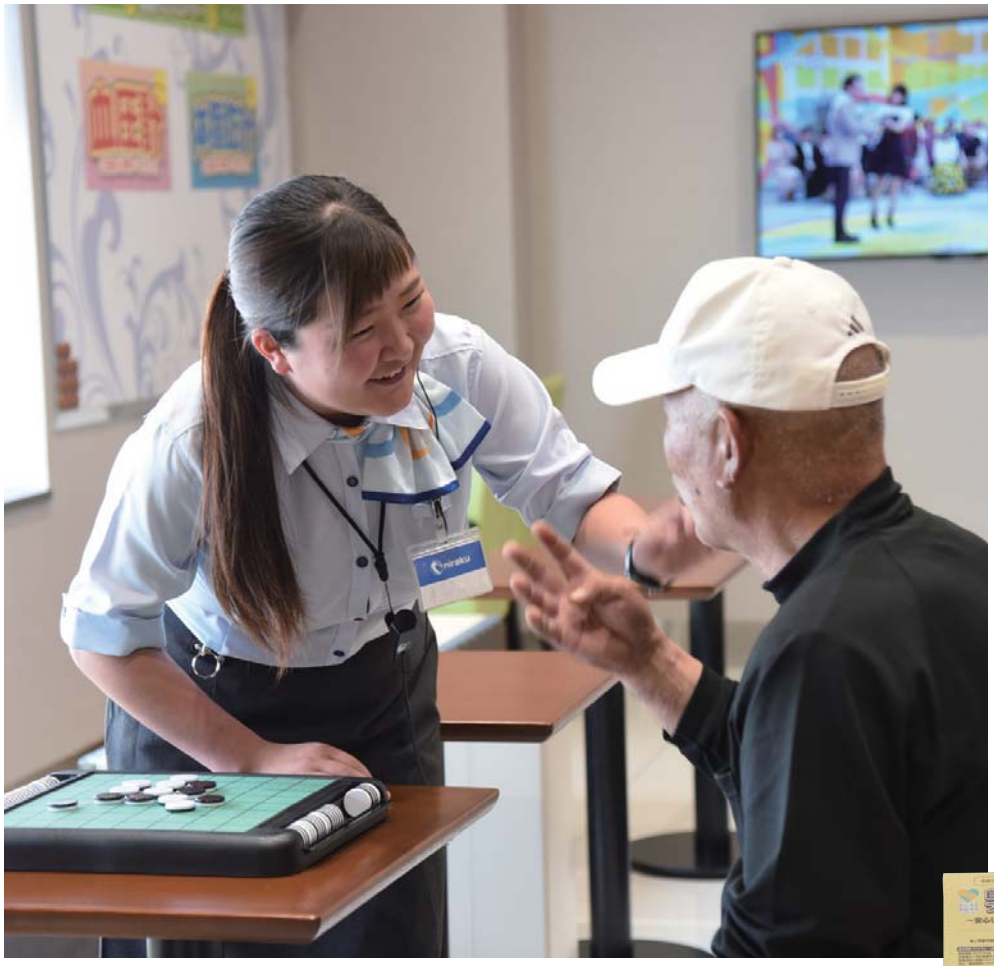
お子様の車内放置

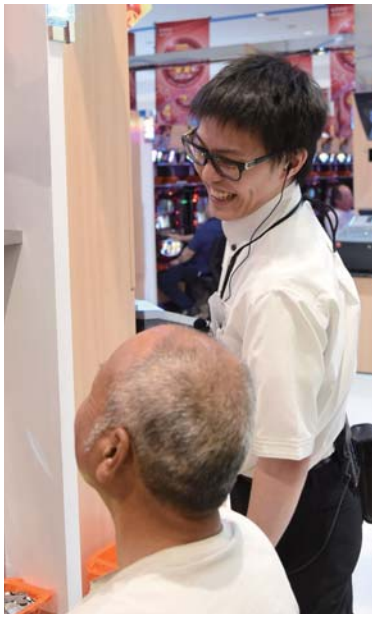
ニラクでは、子どもの車内放置による事故を未然に防ぐ活動に尽力しています。駐車場を有する全店舗において、専任警備員による駐車場巡回を2時間に1回、また酷暑期や厳冬期においては1時間に1回の間隔で車両点検を行い、車内にお子様が放置されていないかをチェックしています。2018年3月期においては2件の車内放置が確認されましたが、いずれも放置から短時間での発見であり、事故の未然防止につながりました。

「責任ある遊技」の実現に向けて

依存問題への取り組み

ニラクはホール企業の社会的使命として、従前より依存問題、いわゆる「のめり込み対策」に取り組んできました。今後も業界団体と連携した相談窓口の設置、啓発ポスターの掲出、「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」の常駐、「自己申告・家族申告プログラム」※の実施、啓もうセミナーの開催等を継続していきます。





自己申告・家族プログラム実施店舗	55店舗
安心パチンコ・パチスロアドバイザー有資格者	184名

※「安全に楽しく遊技するために、お客様やご家族のご希望に応じて、遊技金額、来店回数、遊技時間、入店を制限することができるプログラムです。2018年2月全ての店舗に導入されました。」

基本方針 ～責任ある遊技～

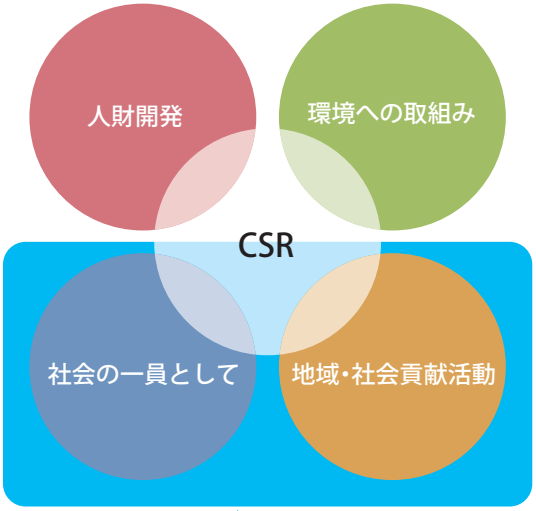
2016年12月のＩＲ推進法可決を背景に、先進的な依存対策研究を推進。さらなる対策強化を図るべく、具体的なアクションプランの構築に取り組んでいます。

ニラクは自らが提供する遊技によって起こる可能性のある過度なのめり込みについて、責任をもってこれを予防し、最小化する努力をしていきます。

[新しい考え方] 責任あるゲーミング

- 予防と啓発を促し、問題の発生を抑える
- 正しい遊び方を伝える
- リスクを明示する
- より楽しく遊んでもらう

CSRとしての「責任ある遊技」



責任ある遊技

のめり込みの問題に向き合うには、我々が正確な知識をもつことが必要です。正確な知識をもつことは、目の前のお客様の遊技状況やその背景についてより深く考えるきっかけをつくります。そして、お客様の気持ちに寄り添った行動をすることにつながっていきます。

1 従業員の教育

正確な知識をもった従業員を育成することにより、お客様の過度なのめり込みを予防し、早期発見につなげていきます。

従来の対策は、起こった問題に対して処置を施すものが中心でした。当社は、その前段階の予防に取り組むことにより、問題の発生を抑えるよう努めていきます。

2 予防の促進

適正な遊び方や健康的な行動週刊を促進し、お客様が無理なく安心して遊技を楽しむことができるように適切なサポートをしていきます。

3 セーフティネットの整備

支援団体や回復施設と連携しながら、問題を抱えるお客様が早い段階で回復に向かえるように努めていきます。

店舗周辺の地域ごとにセーフティネット（安全網）を整備します。既存の相談窓口や支援団体とも協力、連携していきます。

4 地域社会との共生

上記の活動を通して、地域の方々がいつも安全に、そして安心して遊ぶことができる店づくりをしていきます。

お店は地域社会に支えられながら存在しています。お客様や地域住民の皆さまに「ニラクは安心して遊べる」「ニラクがここにあってよかった」と思っていただけるように、地域社会の発展に寄与していきます。

“明るく、楽しく、面白く。”を景品でも提供

PB景品開発

ニラクは、景品提供において、理念である「明るく　楽しく　面白く」の実現をめざし、生活の豊かさと季節性・イベント性を考慮した品目の充実に取り組んでいます。その一環として、2005年からPB(プライベートブランド)景品の開発を行い、多くのお客様からご支持をいただいています。スタート以降、お客様のニーズをもとに、お取引メーカーと共同開発やリニューアルを重ねており、より価値のある景品の提供をめざしています。2018年3月期は、PB景品は17品目でした。

原点に返り、理念と向き合う取り組み

ありがとう運動

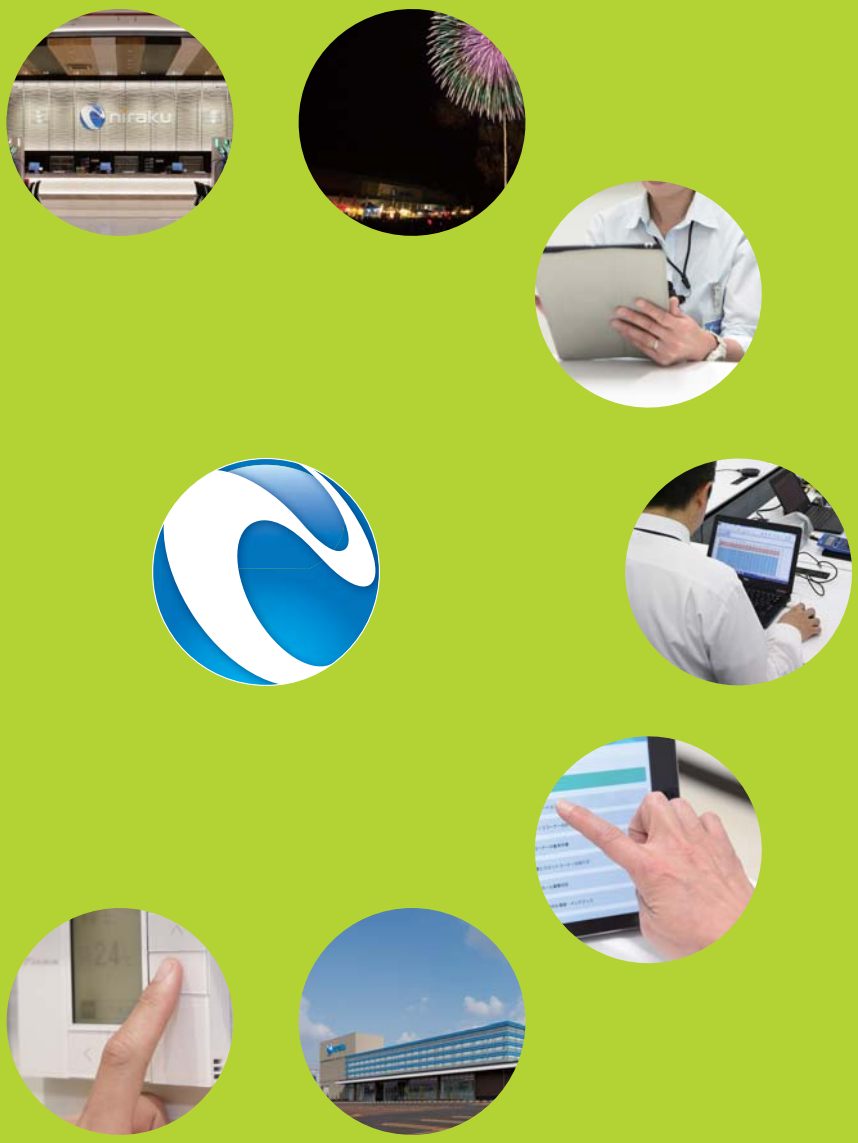
「企業の永続的な成長と発展の根幹は、地域のお客様の喜びの創出と、働く従業員一人一人の幸せである」という考えのもと、全従業員を対象とした「ありがとう運動」を開始しました。これまで暗黙知であった従業員とお客様とのエピソードを集約し全社で共有することで、一人一人が創業以来の理念に立ち返り、マニュアルでは具現化しにくい「感動」を平準化していこうとする取り組みです。2018年3月期は、1年間で1万8千件の「ありがとう」エピソードが集まりました。

Action 03

環境のために

for the environment

かけがえのない地球環境のために



環境に対する方針

当社グループは、「地球に感謝し、企業活動で発生する環境負荷を減少させるとともに、個人の環境保全活動を可能な限り支援する」という企業指針に基づき、低炭素社会の実現をめざした資源の有効活用および環境汚染防止等への取り組みを推進しています。また、日本国内で適用される環境関連の法令および条例を遵守しており、大気汚染、温室効果ガスの排出、水質・土壌汚染、有害・非有害廃棄物の発生などに関し、法令違反はありません。

積極的な
環境保全活動の推進

環境マネジメント

環境への影響として特に重要視する地球温暖化防止をめざし、積極的に環境保全活動を推進しています。環境関連の法規を遵守するとともに、全てのホール・建物内の空調や照明等における消費電力の削減、社内ペーパーレス化、廃棄物リサイクル、水資源の削減等、事業活動のあらゆる局面で発生する環境負荷の低減に努めるとともに継続的に改善を行い、地球環境に配慮した事業活動を行って参ります。

主な取り組み

- 電力消費の適正管理
- 社内文書のペーパーレス化
- 廃棄文書のリサイクル
- 節水型トイレの設置
- Web 会議、エコカー導入

具体的な事例

空　調	●ホール建物内の空調をこまめな温度管理により26℃より下げない。 ●バックヤードにおいて、使用スペースと用途に応じた空調電源管理の実施。
照　明	●ホール内照明の一部消灯、自動販売機照明の消灯等。 ●バックヤードの照明の一部消灯、在室時以外の消灯。
その他	●駐車場・駐輪場照明の一部消灯、ネオンの消灯等。 ●使用機器、設備の必要以外の電源オフ管理等。

電力量および
電力コスト削減の取り組み

LED照明の導入

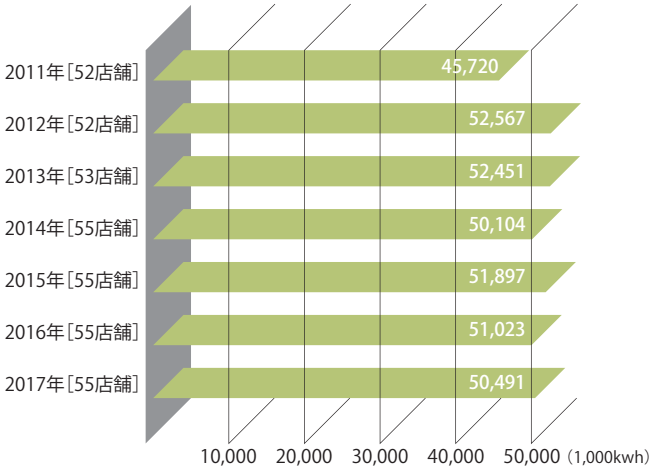
ニラクは、電力削減への取り組みの一環として、東日本大震災翌年の2012年にビジネスセンターの照明器具をLEDに切り替えました。また営業店舗では、お客様の遊技環境改善と電力コスト削減の両立を目的に、2012年から2017年までの6年間で全店舗内外照明をLED照明に切り替え、照明にかかる電力量を継続的に削減しています。

空調設備による契約電力の削減を推進

空調設備電力削減システムの導入

店舗電力量の約50%は空調設備が占めており、空調の電力量を抑えることが電力量削減に大きな効果を発揮します。そのため、店舗スタッフによる人的な温度管理に加え、2014年～2015年には17店舗で空調電力削減システムを導入しました。これにより、契約電力は導入前と比べ15%削減しました。今後は、効果の検証をしながら他の店舗や新規出店店舗への導入を進めていく予定です。

●電力使用量推移



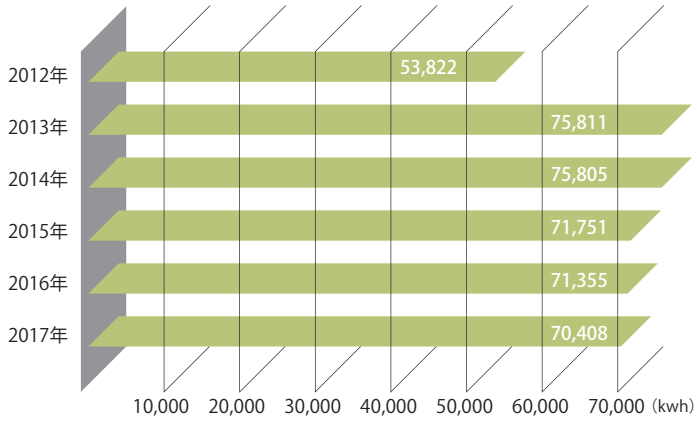
2011年　東日本大震災による一時的な営業活動の縮小
2013年～2016年　LED照明導入
2014年～2015年　空調電力削減システム導入
※東日本大震災の影響により2011年3月より富岡店は休業

クリーンエネルギーの積極的な活用

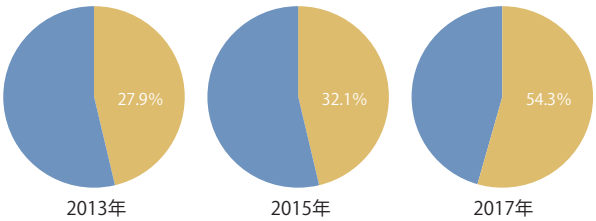
ビジネスセンター太陽光発電

2012年6月にビジネスセンターにおいて、Co_2を排出しないクリーンエネルギーの一つである太陽光発電の運転を開始しました。稼働開始時から、ビジネスセンターで使用する電力の約30%を太陽光発電でカバーしています。2017年度発電量は70.408kwh、総使用電力の54.3%でした。

●ビジネスセンター太陽光発電量推移



●太陽光発電が全電力使用量に占める割合

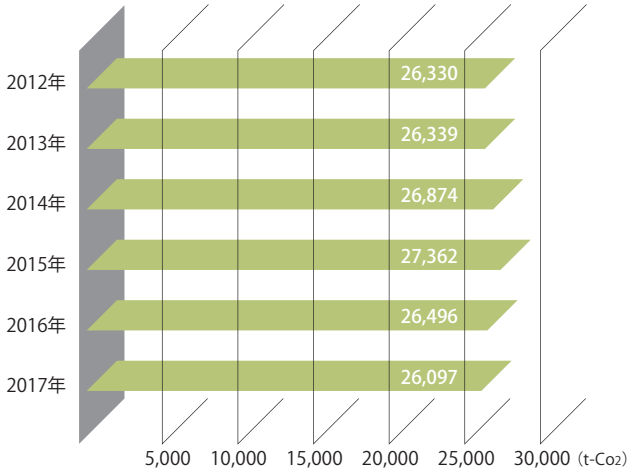


低炭素社会の
よりよい実現をめざして

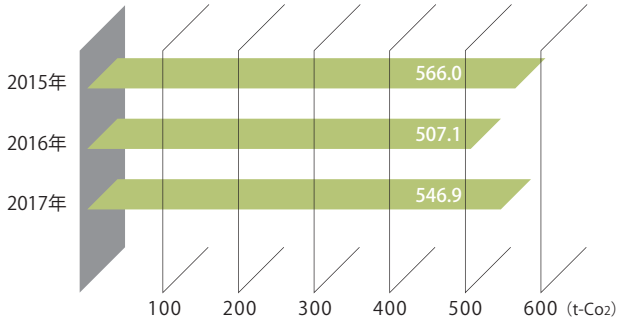
ニラクは、省エネ法による特定事業者に指定されています。燃料資源の有効活用のため、エネルギー使用合理化を推進するとともに、フロンガス排出抑制法に基づく空調設備管理を行い、温室効果ガス削減に取り組んでいます。

温室効果ガスなど排出物削減への取り組み

●使用電力調整後温室効果ガス排出量



●フロン排出量



限りある資源を有効に活用する

環境保護への取り組み

環境資源に対する負荷を抑制するため、社内会議での配布資料のペーパーレス化を進めています。特に会議頻度の高い営業部門においては、クラウドソーシングを通した配布資料のデジタル化を徹底しています。月一回の営業政策決定会議では、遠隔地エリアについてweb会議を導入。移動手段を利用することで発生する温室効果ガス排出を低減させるとともに、移動コストを抑制しています。さらに、当社グループ全体で回収する年間およそ24.4tの廃棄文書を溶解処理し、再生紙へとリサイクルしています。

Action 04

地域社会のために

for local communities

コミュニティやお取引先様のために

ACTIVE LOCAL ENGINE

アクティブ・ローカル・エンジン（Active Local Engine）とは、地域社会との共存・発展をめざし、地域に密着した様々な社会貢献活動を行う取り組みです。当社グループでは、従業員一人一人が優れた倫理観を持つ良き企業市民として、地域のコミュニティやお取引先様のために、地域社会との信頼関係を築いていきたいと考えています。

地域の一員として
地域の皆様と「楽しい」を創る

ニラクが運営する店舗では、それぞれの地域で開催されるイベントへの参加・協賛を行っています。2017年8月26日に、福島県の「須賀川市釈迦堂川花火大会」における駐車場無料開放や24時間チャリティ募金など、各地で多種多彩なイベント協賛、ボランティア参加、運営協力等、従業員一人一人が地域の一員として、地域の皆様との積極的な交流を行いました。

地域イベントへの協賛

ACTIVE LOCAL ENGINE

大きな夢と希望を
福島の子どもたちへ

スポーツによる地域振興

地域社会の一員として、福島の復興と、次世代を担う子供たちに夢と希望を届けるため、当社はプロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」とスポンサー契約を締結しています。ホームゲームには、地域の子供たちや障がいをお持ちの方々をご招待するほか、一部店舗の景品コーナーでのファイヤーボンズグッズを展開しています。当社グループは、スポーツを通した地域の振興・交流に力を注いでいます。

FUKUSHIMA Firebonds

チーム名「ファイヤーボンズ」は、燃え上がる闘志「ファイヤー」と、「絆」「結束」を意味する英単語"Bonds"「ボンズ」に由来する。

福島ファイヤーボンズ［B.LEAGUE］

法人名	福島スポーツエンタテインメント株式会社
所在地	福島県郡山市堂前町1-2-1F
代表取締役	宮田　英治
ホームアリーナ	郡山総合体育館
ウェブサイト	https://firebonds.jp/

ACTIVE LOCAL ENGINE

県内59市町村で観光PRを応援

風とロックCARABAN福島に協賛

風とロックCARAVANは、福島県郡山市出身のクリエイティブディレクター箭内道彦氏と、福島県内の開催地代表者（首長、商工会、観光協会員など）が協力し、交流を図る地域密着イベントです。ニラクは2011年の東日本大震災以降、この主旨に賛同し協賛をスタートしました。イベント当日は開催地域のPRコーナーや、トークショー、ライブなどが行われます。当社ブースではお客様のご好意で集められたお菓子を来場者へプレゼントする他、運営サポートや終了後の清掃活動にも参加しています。

企業市民として私たちができることを

地域をきれいに

当社では、従業員一人一人が優れた倫理観を持った良き市民として、ビジネスセンターおよび営業店舗周辺の定期的な清掃活動を行っています。日本遊技関連事業協会が主催する「クリーンディ清掃活動」では、毎年全56店舗が参加する他、2017年6月30日には、郡山市が毎月一回取り組む美化活動「アイラブロード事業」にあわせて、プロバスケットボールチーム「福島ファイヤーボンズ」の選手とともに、「ニラク美術館通り店」従業員による清掃活動を行い、18kgのゴミを回収しました。

ACTIVE LOCAL ENGINE

郡山を明るく灯そう！

“楽しくなる木”プロジェクト

2017年10月31日、郡山市で冬期開催されるイルミネーションイベント「ビッグツリーページェント・フェスタ」を盛り上げるため、イベントで使用するライトの一部を制作する「みんなで郡山に灯をともそう。“楽しくなる木”イルミネーション」と題したワークショップを開催しました。当日は、当社グループの従業員と地域の子ども達、障がい者施設の利用者、専門学生、福島ファイヤーボンズの選手など約120名が参加し、世界にひとつだけのランプシェードを制作。郡山の街を明るく照らしました。

小さな善意で、地域をもっと元気に

地域への寄付活動

イベントでの活動収益や「福島ファイヤーボンズ」グッズ販売の一部を、ファイヤーボンズを通して子ども達の練習用バスケットボール寄贈に充てるなど、地域への寄付活動を継続的に行っています。2017年度には、全店舗において寄付付きPB景品(ペンシルカルパス、びっぐどら焼き、ソフトビーフジャーキー)を展開し、その収益の１％を「ふくしま被害者支援センター」へ寄付する取り組みを新たにスタートしました。また、「ニラク福島太平寺店」では2016年のオープン以降、日頃ご来店いただくお客様のご厚意により集められた鉛筆を福島県や福島市の教育委員会へ寄贈しています。

ACTIVE LOCAL ENGINE

Action 05

信頼のために

For trust

企業体としての信頼と責任のために

第三者機関による外部モニタリングを徹底

汚職行為（腐敗）防止

当社グループは倫理憲章をはじめとして就業規則・稟議規程・取引先規程・接待交際細則の数々の規程を設け、全ての取引において従業員による恣意的な判断を排除し、不正や汚職の防止につなげています。また、本部に取引先選定委員会を設置し、新規に取引を開始しようとする法人および個人に対し、適正な審査を行い取引開始日の可否を決定。既に取引を行っている法人および個人に対しては年1度のスクリーニングを行い、取引継続等を審査しています。

内外の通報窓口を設置し、従業員による優越的地位の濫用や不正行為等の防止し
全てのステークホルダーからご意見を受け入れる体制を整えています。

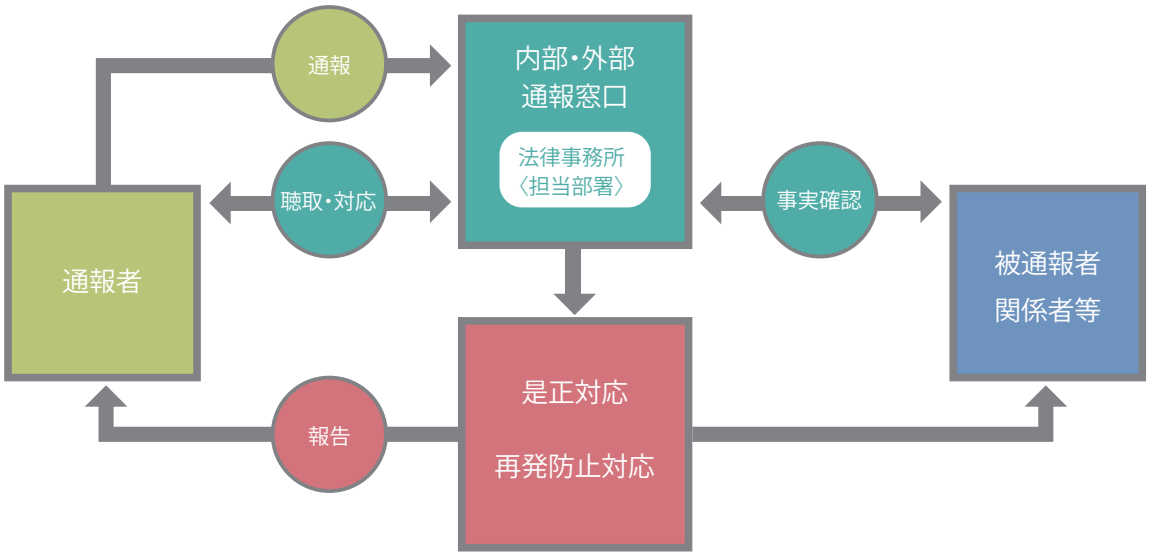
外部通報窓口

外部通報窓口では、社外コンサルタント担当（弁護士事務所）が第1次受付および通報者との橋渡し役として、通報内容を担当取締役まで確実に伝達し、是正や処分までをモニタリングしています。

内部通報窓口

ハラスメントや不正行為等の通報制度として、外部弁護士事務所へ窓口業務を委託しています。通報内容は個人情報の秘匿を厳守しながら担当取締役へ確実に伝達。是正や処分へとつなげています。

●ホットライン対応フロー



二重のチェック体制で風適法遵守を徹底

業界最高レベルの風適法遵守体制

パチンコホール運営において、最も重要な法律の一つである風適法（風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律）を遵守するため、ニラクでは、店舗とビジネスセンターにおいて、二重のチェック体制を構築しています。店舗では、法律要件に則したチェックを月1回の頻度で実施し、営業部内部監査への報告をしています。さらにバックアップ体制としてビジネスセンター専門チームによる全店舗監査を2か月に1回実施し、内部監査への報告を行っています。

全店舗に遊技機取扱いの有資格者を配置

不正防止

ニラクが運営するパチンコホールにおいて、内部・外部を問わず、遊技機に不正な改造を施す等の法律違反を防止するため、全ての店舗管理者が遊技機取扱主任者（一般財団法人 日本遊技関連事業協会）の資格を有し、設置されている遊技機の管理責任者として明確に規定しています。店舗管理者には、3ヶ月に1回以上の頻度で全台検査を義務付ける他、常時、業界内外の不正に関する最新情報を収集し、具体的な対策へと活かしています。

AMLリスクの発見および低減促進を強化

Anti Money Laundering

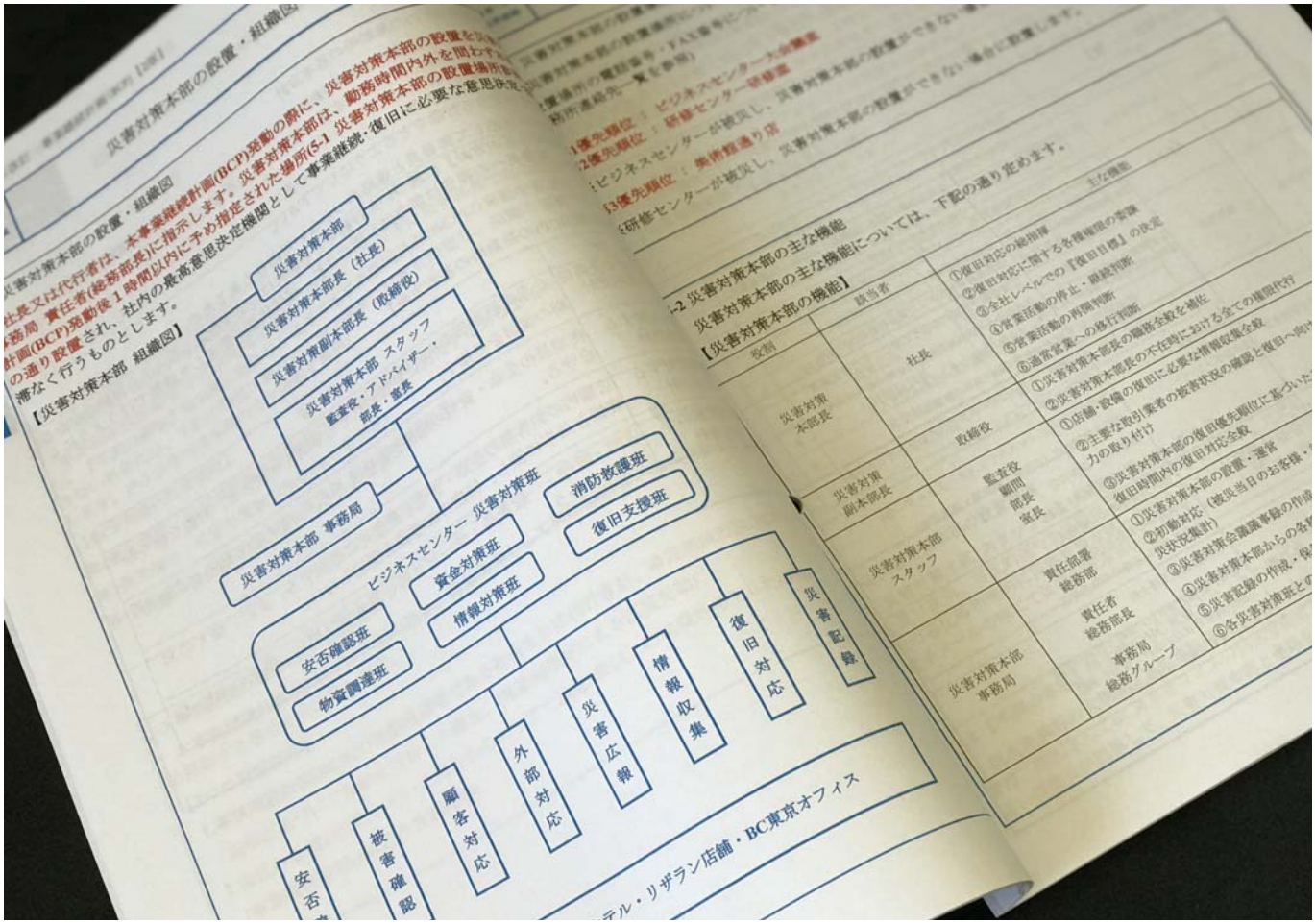
当社グループの主な事業であるパチンコホール運営におけるアンチマネーロンダリング（AML）リスクの発見と低減を促進させるための管理を行っています。AMLに関する全ての事象は、危機管理員会を所管する事務局へ集約され、検査・調査・点検を行い、当社のリスク担当執行役（CRMO）および監査委員会に報告されます。

※具体的な取組内容は、AMLポリシー（www.ngch.co.jp/jp/csr/）をご参照ください。

緊急時の速やかな対応を推進

BCP（事業継承計画）

ニラクでは2017年にBCP（事業継承計画）を策定しました。これにより危機管理体制を速やかに構築し、迅速な意思決定および情報伝達により、万が一の有事の際に、リスクを最小限にとどめるための体制を確立しました。予期せぬ危機的状況において、事業資産の損害を最小限にとどめ、事業の早期復旧および継続を可能とするため、引き続き策定したBCPを運用し、定期的な教育訓練を徹底し、計画の見直し・更新を実施していきます。



香港証券取引所上場規則

Environmental, Social and Governance Reporting Guide

主要項目	定性情報／指標			掲載ページ
A. 環境（Environment）				
A1: 排出物	定性情報	定性情報	大気への排出物、温室効果ガスの排出、水中及び陸上への排出物、有害あるいは無害の廃棄物に関連する方針	20-24
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	20
	指標	KPI A1.1	排出物のタイプ、及びそれぞれの排出物に関するデータ	23
		KPI A1.2	温室効果ガスの総排出量、また必要に応じて、排出原単位	23
		KPI A1.3	有害廃棄物の総発生量、また必要に応じて、原単位	Note 2
		KPI A1.4	無害廃棄物の総発生量、また必要に応じて、原単位	Note 2
		KPI A1.5	排出量を軽減する措置及び成果についての記述	20-24
		KPI A1.6	有害あるいは無害廃棄物の取り扱い方、削減計画及び成果についての記述	20-24
A2: 資源の消費量	定性情報	定性情報	エネルギー、水、及びその他の原料を含む資源の有効活用のための方針	20-24
	指標	KPI A2.1	タイプ別の直接的および/または間接的エネルギー消費総量及び原単位	20-24
		KPI A2.2	水の総消費量、及び原単位	Note 2
		KPI A2.3	エネルギーを有効に活用するための計画及び成果についての記述	21
		KPI A2.4	自社の目的に適切な水の調達に課題があるかどうか、また、節水への取り組み及び成果についての記述	21
		KPI A2.5	完成品に使用される梱包材の総量、及び、該当する場合は各々の生産単位に紐づけた記述	N/A
A3: 環境及び天然資源	定性情報	定性情報	環境や天然資源に対して発行者が与える重大な影響を最小化するための方針	20-24
	指標	KPI A3.1	環境や天然資源に重大な影響を与える活動、また、それらを管理するための方策についての記述	20-24
B. 社会（Social）				
B1: 雇用	定性情報	定性情報	報酬と解雇、新規採用と昇進、労働時間、休憩時間、機会均等、ダイバーシティ、反差別、及びその他の福利厚生に関連する方針	7-12
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	7-12
	指標	KPI B1.1	男女別、雇用形態別、年齢層別、及び地区別の従業員数	7-8
		KPI B1.2	男女別、年齢層、および地区別の従業員離職率	Note 2
B2: 健康及び安全	定性情報	定性情報	安全な労働環境の提供、及び業務上の危険からの従業員の保護に関連する方針	11
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	7
	指標	KPI B2.1	業務上の死亡者数及び割合	11
		KPI B2.2	労災による損失日数	11
		KPI B2.3	採用している労働安全衛生に関する施策、またそれらの施策がどのように実施、モニターされているかについての記述	7-12

報告ガイドライン対照表

主要項目	定性情報／指標			掲載ページ
B3: 教育研修	定性情報	定性情報	従業員の職務遂行のための知識やスキルを向上させるための方針 研修活動についての記述	10
	指標	KPI B3.1	男女別、従業員カテゴリー別の、研修を受けた従業員のパーセンテージ	Note 2
		KPI B3.2	男女別、従業員カテゴリー別の、従業員一人あたりの研修時間	Note 2
B4: 労働関連法規	定性情報	定性情報	児童・強制労働の防止に関連する方針	Note 1
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	Note 1
	指標	KPI B4.1	児童労働及び強制労働を防ぐために雇用慣行をレビューする方策についての記述	Note 1
		KPI B4.2	発覚した場合、そのような雇用慣行を排除するために取る措置についての記述	Note 1
B5: サプライチェーン マネージメント	定性情報	定性情報	サプライチェーンの環境・社会リスクを管理するための方針	18
	指標	KPI B5.1	地区別のサプライヤーの数	Note 2
		KPI B5.2	サプライヤー採用に関する施策、及びその施策が実施されているサプライヤーの数	Note 2
B6: 製造物責任	定性情報	定性情報	提供される製品・サービスについての安全・衛生、広告、ラベリングとプライバシーの問題、及び補償方法に関連する方針	32-35
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	32-35
	指標	KPI B6.1	安全面・衛生面の事由によるリコールを想定している販売済・出荷済の総製品の割合	N/A
		KPI B6.2	クレームを受けた製品及びサービスの数、また、どのように対処したか	Note 2
		KPI B6.3	知的財産権の遵守と保護に関連する施策についての記述	Note 2
		KPI B6.4	品質保証のプロセス及びリコール手続についての記述	N/A
		KPI B6.5	顧客情報の保護及びプライバシー・ポリシー	Note 2
B7: 腐敗防止	定性情報	定性情報	収賄、強要行為、詐欺、及びマネーロンダリングに関連する方針	34
			発行者に重大な影響を与える関連法規の遵守状況	32-34
	指標	KPI B7.1	報告期間において発行者あるいは発行者の従業員に対して提起された汚職事件につき結審した訴訟事件の数、及びその判決	NULL
		KPI B7.2	受領した苦情に関連する製品・サービスの数、また、どのように対処したか	32-33
B8: 地域社会への投資	定性情報	定性情報	発行者が事業を行う地域におけるコミュニティーのニーズを理解し、コミュニティーの利益を考慮したうえでの事業活動を確保するための、コミュニティー参画に関する方針。	26-30
	指標	KPI B8.1	貢献を重点的に行う分野	26-30
		KPI B8.2	重点分野に寄与した資源	26-30

注　記
1. 当社グループは、強制労働や児童労働等の非人道的扱いや地球環境の汚染防止等、国際規範や国際イニシアティブ等の社会的要請を十分に認識しており、事業活動を行う国や地域で適用される法令や社会規範を遵守しています。
日本国内の取引先を含め、企業倫理に反する事例はありません。
2. 情報や統計の開示は、社会や環境に対するリスクや事業活動への影響の大きさに配慮し、状況に応じて適宜拡張を検討いたします。

フィードバックのお願い

当社グループのＣＳＲレポートをご覧いただきありがとうございます。
当社グループのESGへの取り組み、およびCSRレポートの内容をより一層充実させるために、
当レポートに関してご意見・ご感想をお聞かせ頂けると幸いです。
ご意見、ご感想をお聞かせいただける方は、下記フォームにご記入の上、メール、ファックス、郵送のいずれかの形式でお送りください。
なお、戴いた回答は上記目的のみに利用し、個人情報等は第三者に対して提供致しません。
今後とも、当グループは「明るく楽しく面白く」という経営理念の下に、皆様に幸せな時間を提供してまいります。

Q1. どのようなお立場から本レポートをご覧になりましたか？

□お客様　□株主・投資家　□地域住民　□従業員
□業界団体　□取引先　□同業他社　□報道機関
□政府・監督当局　□学術・調査機関　□その他（　　）

Q2. 本レポートの総合的な評価についてお聞かせください。

1.非常に満足　2.満足　3.どちらでもない　4.不満足　5.非常に不満足

Q3. 本レポートの読みやすさに関する以下の点について、評価をお聞かせください。

1 レポートの構成	1.良い	2.どちらでもない	3.悪い
2 デザイン、レイアウト	1.良い	2.どちらでもない	3.悪い
3 レポートの分量	1.良い	2.どちらでもない	3.悪い

Q4. 本レポートについて、最も興味を持ったトピックについてお聞かせください。

Q5. 来期以降、本レポートに記載する必要のあるトピックについてお聞かせください。

Q6. その他、本レポートに対するご意見等ございましたら、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。下記送付先までお送りください。

送　付　先

メール／niraku@sprg.com.hk
ファックス／024-992-2221
郵　送／〒963-8811 福島県郡山市方八町2-1-24

NIRAKU GC HOLDINGS, INC.